



2021
12月号
NO. 554

広報

くどやま

**九度山学童軟式野球クラブ
秋の大会において優秀な成績を収める！**

令和3年度「九度山百景絵画展」入賞作品介绍



九度山百景絵画展に多数のご応募をいただきありがとうございました。
 この絵画展では、一次審査、二次審査および最終審査を経て入賞者が決定されます。
 まず町長、教育長と町内中学校の美術の先生が審査員となった一次審査で、全作品の中から20作品が選出されます。その後、本町の文化・観光大使である平山美知子さんによる二次審査で7作品に絞り込まれ、さらに、ここで大賞「平山美知子文化・観光大使賞」が選出されます。
 そして、残った6作品は町長および教育長により再度審査され、各賞が決定します。
 これらの厳正な審査の結果、次のとおり入賞者が決定されましたので紹介します。



平山美知子文化・文化観光大使賞
 タイトル「榎尾山明神社」葛原 遥
 (九度山中学校1年生)



町長賞
 タイトル「松山常次郎記念館」辻本莉子
 (九度山中学校1年生)

教育長賞
 タイトル「走る天空」小川凌司
 (九度山小学校5年生)

●その他の入賞者

- | | | |
|-----|-------------------|-----------------|
| 特選 | タイトル「九度山の秋」 | 坂口昇治 (一般) |
| 入選 | タイトル「トロッコ道と天空」 | 露久志恵美子 (一般) |
| 佳作 | タイトル「勝利寺の紫陽花と百度石」 | 福本ツヤ子 (一般) |
| 特別賞 | タイトル「丹生神社」 | 下村柚実 (河根中学校2年生) |



ご応募いただいた全作品(105作品)は、令和3年9月19日(日)～10月17日(日)までの29日間を会期とし、旧南都銀行において展示されました。
 会期中は、たくさんの方々がお足を止め、素晴らしい作品のひとつひとつをじっくりみていました。



九度山学童軟式野球クラブが「かつらぎ町軟式野球学童部連盟秋季大会」において、優秀な成績を収めました。A級(6年生以下)大会は優勝、B級(5年生以下)大会は準優勝、C級(4年生以下)大会は優勝しました。※C級はかつらぎ町との合同チーム。



監督 小野寺さん

九度山学童軟式野球クラブでは、暑い日も寒い日も皆で一生懸命練習をしています。他の子が自由に自分の時間として過ごしている時間を、野球というスポーツに没頭し、困難なことがあってもくじけない強い心とたくましい身体をつくっています。子ども達はまだまだ小さな蕾です。当クラブでかけがえのない経験をして、将来大きくてきれいな花を咲かせて欲しいと思います。

新メンバー大募集!!一緒に野球をしよう!!

練習：毎週土日
 体験会は土曜昼～
 QRコードより
 お申込みください。



☆子どもたちの声

- ・ヒット打てた時が最高に気持ちいい!!
- ・ボールを遠くまで投げられるのが楽しい!!
- ・試合で三振をとったときや、ストライクゾーンぎりぎりに投げられたときが最高!!
- ・運動が苦手だった僕が、野球のおかげで学校でも色んな選抜に入れるようになった!プロ野球選手になれるようにこれからも頑張る!



☆保護者の声

- ・子どもたちは男女、学年問わず仲良く、楽しく、助け合ってる姿が良いです。うちの子どもたちは野球の練習をいつも楽しみにしています。
- ・試合に勝った時の子どもたちの笑顔を見るのが最高です。
- ・野球繋がりや友達も広がるのでとてもいい環境です。
- ・月謝も保護者会費も各1,000円と家計に優しいです。
- ・練習は九度山小学校で、試合も伊都橋本中心なので、送迎が楽です。
- ・休日はYouTubeやゲームで過ごしていましたが、今は思いっきり体を動かしているので良かったです。
- ・何より年上の子達からも優しく教えてもらえて子どもが楽しく野球に通っている事がすごくうれしいです。九度山野球部に入って良かったと思います。
- ・野球は厳しくて怖いイメージがありましたが、わかりやすくてのしく教えてくれるので子どもたちは毎週野球の日を楽しみにしています。

◎女の子達は伊都橋本内の野球部の女子が集まって結成されたサンスマイルズでも活躍しています!
 野球女子も大募集♡

保育所の運動会が開催されました

10月16日、九度山町文化スポーツセンターにて、第17回九度山保育所運動会を開催しました。コロナ禍の中での開催となり、人数制限および時間短縮など制限をさせていただきました。温かい雰囲気の中、子どもたちは、笑顔で元気いっぱい演技を披露することができました。



和歌山県青少年育成協会会長表彰（善行青少年関係・個人）を受賞

10月23日、和歌山県青少年育成協会会長表彰式が行われ、九度山町ジュニアリーダークラブの森脇愛梨さんが、和歌山県青少年育成協会会長表彰を受賞されました。

森脇さんは平成28年度から九度山ジュニアリーダークラブに所属し、平成28年は副会長、平成29年度からは会長として九度山町ジュニアリーダー育成研修会を実施、リーダー活動の充実と後継者の育成につとめられました。また、町のイベントや清掃活動などに積極的に参加し、町の活性化のために尽力された功績により表彰されました。

認知症について

紀北分院 分院長・内科教授 廣西昌也

平成16年に痴呆症という言葉が差別的だということで、「認知症」という言葉が使われるようになりました。でも、最近高野線に乗っていたら若い女性が「あんた認知ちゃうん？」と連れの女性に言っているのを聞いて、せっかく言葉を変えたのになんだかなあ、と思って聞いておりました。それはともかく、認知症の「認知」って何か考えてみられたことがあるでしょうか？般若心経に「むげんに一びせっしんに一」というところがありますね。あの眼耳鼻舌身意のところ「認知」に当たります（お経はそれが無いと言っているのだから俗人には難しいところですが）。見ること、聞くこと、嗅ぐこと、味わうこと、触ったり痛い感覚があり、それを意識し判断することが認知だということです。例えばカレーを作る場面を考えてみましょう。カレーを作ろうと思いつき、材料を思い出し、どれくらい買おうか計算し、買い物は松源に行くかオークワに行くか、あるいはどのルーを使うか判断し、分量を計算し、煮る時間を測り、そしておいしいなど感情を持って味わうこと、これはすべて認知機能の働きです。逆に認知機能が低下すると何を使ってカレーを作るかわからず、スーパーへの道順もあやふやになってしまうかもしれません。長く煮すぎてしまって鍋を焦がすこともあるでしょう。これが認知症の症状ということになります。人間は体力と認知機能の両方がきちんと働いていないと生活できません。当然ですが認知症は生活しにくくなる病気なのです。

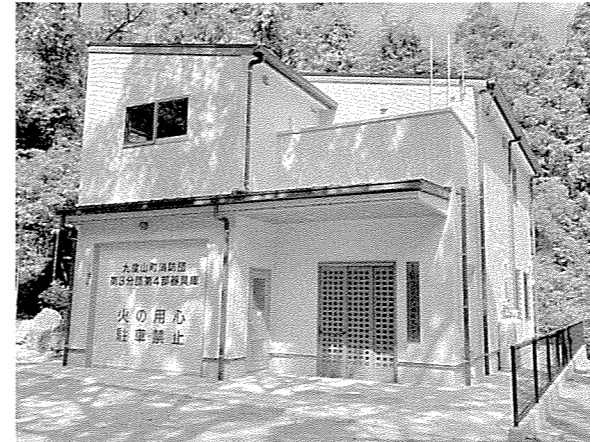
私は紀北分院で認知症に関する診療を行っていますが、多くの方々がいたずらに認知症を恐れないですむよう、きちんと認知症について知って頂き、もし認知症や物忘れがあっても負けずに快適に暮らして頂きたいと思っています。そのためには認知機能の低下を早めに見つけることが大切で、本人や家族の方に認知機能が低下した場合の対処法を聞いておいて頂ければと思います。そして何よりも認知症に対する偏見をなくして頂きたいと考えているところです。認知症や認知機能の低下は早めに見つけて、生活の不自由を少なくするための工夫をどんどんやるのが大切です。場合によっては介護保険などを使って介護サービスを適切に受けることで本人や家族の負担が非常に軽くなることもあります。高齢化社会の中で、認知機能の低下があっても、少しでもストレスの少ない日々を送っていただくよう、物忘れが心配な場合はかかりつけの先生などに早めに相談してください。

上古沢コミュニティ消防センターが完成

上古沢コミュニティ消防センターがこのほど完成し、10月8日にセンターの竣工式及び消防器具庫の引渡式が行われました。

本施設は、上古沢区の消防器具庫と児童館の老朽化のために建設された鉄骨2階建てで、施設内には消防施設（団員詰所、車庫など）と集会施設（集会室、和室、防災倉庫、湯沸室、多目的トイレなど）の機能を兼ね備えた複合施設になっています。

今後は災害時の防災活動や安全・安心のまちづくりの拠点、地域の交流の場として活用されることが期待されています。



▲上古沢コミュニティ消防センター



▲竣工式及び引渡式
左から中谷消防団長、町長、上古沢区長寺垣内さん、岡副団長

第10回和歌山県ジュニア夏季水泳競技大会の結果

9月26日、第10回和歌山県ジュニア夏季水泳競技大会が和歌山市秋葉山プールにおいて開催されました。町内の子どもたちが優秀な成績を収めました。



大谷 哲平	中野 魁	山本 峻生
10才以下男子の部	11～12才男子の部	10歳以下男子の部
50m自由形 2位	50m背泳ぎ 6位	50mバタフライ 1位
100m自由形 2位		200m個人メドレー 3位
100m自由形 1位		



速水 香苗	中野 凜彩	大谷 碧依
10才以下女子の部	11～12才女子の部	13～14才女子の部
50m自由形 1位	50m平泳ぎ 2位	50m背泳ぎ 4位
50m背泳ぎ 2位	100m平泳ぎ 3位	
100m背泳ぎ 1位		

第1回九度山町スポーツ賞の募集について

町のスポーツ振興に貢献し、その成績がいちじりしい者または、各種スポーツ大会にて優秀な成績を収めた者および団体を募集します。

- 対象者 小学生～高校生（令和3年1月1日～令和3年12月31日までの間にスポーツ大会等において優秀な成績を収めた者または団体）
- 募集期間 令和3年12月1日～令和4年1月14日
詳しい規定については、町ホームページをご覧ください。
- 問い合わせ 九度山町教育委員会 社会教育課 ☎54-2019

消費者ホットライン188とは？

消費者ホットライン188（局番なし）は、お近くの消費生活センター等の消費生活相談窓口をご案内することにより、消費生活相談の最初の一步をお手伝いするものです。

「悪質商法等による被害にあった」「ある製品を使ってけがをしてしまった」「お試し購入のはずが定期購入契約になっていた」などの消費者トラブルで困っていませんか？

また、「塾や習い事で教室が閉鎖になっていた月の月謝を返金してほしい」「感染予防等を理由に結婚式場をキャンセルしたところ、キャンセル料を請求された」などの新型コロナウイルスに関連したトラブルや、「台風で雨漏りし修理してもらったがさらにひどくなった」などの災害に関するトラブルで困っていませんか？

そんなときは一人で悩まずに、全国どこからでも3桁の電話番号でつながる消費者ホットライン「188（いやや!）」にご相談ください。専門の相談員がトラブル解決を支援します。



一人で悩まず、まずは相談！
大切なのは、すぐに相談することです。
困ったときは、一人で抱え込まないで「消費者ホットライン「いやや」（局番なしの188）」までお電話を『泣き寝入りは超いやや（188）！』で覚えてね。

くどやま芸術祭 2021 盛況のうちに閉幕しました。

9月19日～10月17日の間、くどやま芸術祭 2021 が開催され、たくさんの方が町を訪れました。

9月16日には、クローズイベントとして、世界遺産エリアの慈尊院、丹生官省符神社、勝利寺、紙遊苑において、夜の世界遺産を楽しめるライトアップが行われました。

訪れた人たちは、いつもと違った幻想的な世界に入り込み、それぞれ写真を撮ったりして楽しんでいました。

皆さまのご理解、ご協力ありがとうございました。



▲紙遊苑での様子

和歌山県誕生150年巡回パネル展について

明治4年（1871年）の廃藩置県後、当時の紀州は和歌山県、田辺県、新宮県などに分かれていましたが、同じ年の11月22日、この3県が統合して、現在の和歌山県が誕生し、令和3年に誕生150年を迎えました。これを記念し、これまでの県の歩みを振り返るとともに未来を考える機会となるパネル展を開催します。

○巡回パネル展

- 日 時 12月7日（火）～12月14日（火）9時～22時※
- 場 所 かつらぎ総合文化会館（かつらぎ町丁ノ町2454）
- 内 容 和歌山県の成り立ちやこれまでのあゆみ、県内各地の今昔写真、未来に向けた県の取組等を紹介します。
※初日は13時から、最終日は16時まで。月曜休館。
- 問い合わせ 和歌山県県民生活課 073-441-2598

